

第3回 三村小・玉穂南小学校区 中央市立学校再編協議会 議事録

1 日時 令和8年2月10日(火) 19:00~21:00

2 場所 中央市役所

3 出席者

【委員】14名（欠席3名）

【事務局】3名

1. 開会

2. 議事

(1)協議事項

- ・これまでの検討内容
- ・意見交換

会長

事務局から資料の説明があった。本日は本協議会としての結論を出したい。第2回協議会では、中央市教育委員会事務局と三村小学校運営協議会において、安全点検結果等を確認していただき、第3回で改めて意見を聞く方向で終了している。本日は、まず三村小学校区の委員から学校内の協議経過とご意見を伺いたい。

A 委員

第2回の会議では、子ども達の安全を優先に考え、長寿命化改修計画に賛成した。その後、市教育委員会事務局から点検結果及び天井等の改修工事について説明があった。これにより、子ども達の安全が守られることが確認できた。1月には三村小学校運営協議会として長寿命化改修工事が完了した田富小学校の見学を行った。また、1月と2月に学校運営協議会を開催し、本日の会議に向けて協議を行った。三村小学校運営協議会では結論をひとつにまとめず、本日の会議で、各委員の意見をそれぞれ伝えることとなった。

B 委員

田富小学校を見学した際は、校舎がきれいでも増改築をすれば配置換えが可能であることを理解し、長寿命化改修も良いと考えた。しかし、2月の学校運営協議会では、大筋で統合が良いとの結論に至った。あとはそれぞれの意見を本日述べることとなった。

C 委員

最初は統合寄りの考えだったが、天井材の一部落下があり、考える機会となった。学校PTAからも老朽化が心配という意見も出ている。1月の田富小学校の見学に行って、教室の広さを変えないと1クラス35人ではキツキツな状態だと思った。この先26人以上の単級となる時期が続くと聞いた。やはり新しい校舎で、適

正規模を図り、やれることはやっていただきたい。

D 委員

子どもたちが安全に安心して過ごせる環境を整備することが重要。今の時代に合った ICT 設備や、先日田富小学校で見学したような発電機など最新の設備を導入して、長寿命化改修を凶った方がいい。これにより、子どもたちが今後 10 年、20 年と生き生きと過ごせる環境を作ることができる。

最も重要なのは、子どもたちが危険な場所で学んでいる現状を早急に改善し、安全で安心な学びの場を提供することである。統合となると、場所の問題や通学路や既存校舎のありかたなどを検討するために時間がかかる。

細かい要望については、今後設計段階などで調整を行えばよい。

E 委員

天井材の一部が落下した教室について業者が点検調査を行い、安全性が確認された。そのため、当初の希望に立ち戻り、統合が最良の選択肢であると考えようになった。田富小学校を見学した際、校舎は確かに綺麗ではあったが、特にときめきは感じなかった。

将来的に両校とも単独では単級になるのであれば、統合が最適だと考える。気持ちよく新しい校舎が建てられることを願っている。

F 委員

1 月の田富小学校の見学に参加した。校舎は新築に相当で安全性も高いと感じた。しかし、長寿命化改修ではこれまでと同じような教室が並ぶだけの建物で、未来型の学校とは言えないと感じた。長寿命化改修後の校舎は 30 年間使用されることになるが、それが本当に子どもたちにとって良い環境なのかと疑問を抱いた。

統合して未来型の校舎で子どもたちに学んでもらいたいという思いが強くなった。しかし、三村小学校の老朽化を考慮すると、土地の購入を伴う統合には長期間かかると言われており、その間待つことはできない。ただ、統合して新しい未来型の学校で学ばせてやりたいと改めて思った。

G 委員

校舎の老朽化に不安があり、長寿命化改修の方が統合に比べて早く新しい校舎になると思い、長寿命化改修を前回は選択した。ただ、両校を長寿命化改修しても、今後子どもが減少する可能性があり、また統合の話が出るのではないかと思うと、これからの子どもたちのためには、統合して魅力ある学校づくりを進めた方がいいと思う。

H 委員

少子化問題は学校現場でも切実な問題。ICT が導入され、個で活動することが増えている中で、学校の意味は、やはり人が沢山いて楽しいことやトラブルなどの関わりがあってこそだと思う。将来の玉穂地区の教育を考えると、子どもが減ることは致命的だと感じる。沢山の子どもたちが集うという意味では統合が大きな目標になるのではないか。

田富小学校を見学し、今使いづらい校舎が改善するなら、統合を見据えた長寿命

化改修が良いかと思った。しかし、いずれ玉穂南小学校も長寿命化改修を迎える。「今は統合のタイミングが難しいから」と先送りすると市の財政も圧迫するし、全部含めて舵を切る時期かなとは思う。

更に言うと、今の子どもたちが早く現校舎を出るためにすぐに仮設校舎を建てるとなると、新しい敷地ではなくいずれかの学校の敷地に統合新設するのがよいと思う。

B 委員

子ども達にとっては、今の普通教室では狭いので普通教室を広くしたい。フリーで使える部屋がほしい。そして、安全安心は勿論だが、これからの魅力的な学校には非常に惹かれるものがある。いつかは統合しなければならないのであれば、今統合を行った方がいいと思う。できるだけ早く統合して新しい校舎に移りたい。場所については行政判断でよいのではないか。

A 委員

三村小学校運営協議会を終え考える中で、児童減少や適正規模など子どもたちのことを考えると統合していくのがいいと思う。子どもたちの安全優先での統合をお願いしたい。現在改修工事は行っているが、築48年たち老朽化が著しいため、本当に早くどこかに移りたいという気持ちでいる。

さらに子どもたちが交流できるような、また個別の学びが深められるような新築の学校になって欲しい。

会長

玉穂南小校区の委員のご意見を伺いたい。

I 委員

各委員から改修工事が行なわれていると言われているが、現在の三村小学校の安全性について、事務局に伺いたい。

事務局

落下部分と同様な構造で安全性が低い箇所はすべて撤去し、改めて10月に行った安全点検においては、改修する緊急性のあるものはないという結果がでている。ただ、建物として同じ時期に建てているので、より安全性を高めるための落下防止策等を実施し、内装を整えるため、2月から5月末をめどに改修工事に入る予定。

低学年棟以外も年度内に同様の安全点検を行い、報告を受ける。また、同じ点検を玉穂南小学校で行うため来年度予算で要求しているところ。議会で可決されれば夏休みの実施を予定している。

I 委員

どの程度の安全性か。

事務局

今回は建物自体の強度等を調査したものではなく、非構造部材の点検を行った。非構造部材とは建物にくっついている天井材や設備器具などのことで、地震等に

より物が落ちてくることに対する安全確保を主眼においている。落下のリスクを最小限に抑えるように補修、改修工事を行っている。

J 委員

以前から統合でいきたい意見をだしていた。子どもたちが少なくなるので運動会など大人数の方が楽しいかなというのと、新しい環境で新しい時代に即した学校を作って勉強ができるという話をしていたので、統合に賛成である。

場所に関しては議会の方で決めてもらうのがいいかなと思う。

K 委員

統合に賛成か反対かではなくて、玉穂地区の子どもたちが一番勉強しやすいような環境ならどちらでもよいという意見である。新しいからよいということではなく、子どもが過ごしやすく色々な発想を持てるような学校であれば素晴らしいと思う。文部科学省が示す素晴らしい学校を作らなければならないというわけではなく、予算の中で子どもたちがいかに楽しく過ごせるかということが一番重要である。統合校の建設に関しては国からの補助金には条件があるとのことなので、補助金をもらえる手法を採用していただいた方がよい。

仮設校舎の敷地内への建設や、どちらかの学校を解体して新築となると、グラウンド利用に制限があり、運動するのは体育館でなければ無理だという話になるかもしれない。その中で子どもたちが最大限活動できるような対策を教育委員会でも実施していただきたい。

場所については、子どもたちにとって最良の場所を選定するのであれば、教育委員会や市議会に決めていただいた方がよい。もし遠くになったらバスも検討していただきたい。

児童数の増加に対して先生方の増員等の配慮もお願いしたい。今、放課後児童クラブに通っている子どもがどこに通うかなどきちんと事前に連絡できるような状況を作っていただきたい。

L 委員

子どもたちのことを第一に考えていきたい。本校では現在単級クラスになりそうな学年が多い。三村小学校も同じような状況だと思う。子どもたちのことを考えると6年間1クラスよりは、複数クラスでいろいろな友達と関りをもったりすることが一番いいのかなと思う。人間関係が固定化するよりは理想だと思う。

玉穂南小学校の普通教室周辺の床が絨毯で、衛生面や使い勝手に課題がある。

また、昔と比べて机が大きくなっているため、6年生の教室は狭い。教室の広さは変えられないのは将来的によくはない。最新の使いやすい、広い環境で、様々な活動ができるようにしたい。保護者や地域の方が集まりやすいような環境にするため、広い敷地に建築していただきたい。両校のいいところを統合して、魅力ある学校づくりを進めていくのがいいと思う。あの学校に通いたいという形になったら玉穂地区の人口が増えるかもしれないし、そういう学校づくりを目指していくのが子どもたちのためにもいいと思う。そのためには両校の安全確保をしっかりともらいたい。安全確保されているうちに統合していくのが大事ではないか。

令和12年に統合となった場合、前回資料で児童数は491名となる。今よりも大きな校舎が必要になる。現校舎の安全確保がなされているのであればあえて仮設

校舎を造らずに、現校舎を使用しながら新校舎へ移動できるかもしれないと思う。
現在の課題である単級になっていくことを解消していただきたい。

M 委員

子どもの安全に関する懸念がある程度解消されたならば、次に教育環境を考えると、広い施設で色んな交わりの中で育っていくことが重要で、やはりひとつにまとまって統合する方がよい。

場所については、議会等含めながら、地域の声も反映させ、ある程度まとめていけばいいと思う。長寿命化改修工事と同じ金額、同じ工事期間で新築工事が出来て、当面の不安を取り払うことができるのであれば、両校がまとめればいいと思う。

A 委員

令和5・6年度は各学校に分かれて協議を行った。令和7年度は少人数の中での話し合いとなったが、今までの思いを背負いながら参加している。それぞれの学校では統合でということで、新しい学校をつくろう、場所は玉穂地区の中心がいいねという流れの中でその思いを背負いながら参加したので、そういった民意というか、そういう意見を参考にしていきたい。

I 委員

以前のアンケートで、未就学世帯の回答で統合してほしいという意見がでていたので、その方向に行きそうで安心している。乳幼児がいる保護者と話したが、学年1クラスしかないような学校に通わせたくないと言われた。

広さや場所については、これから土地の購入は時間と費用がかかる。市や議会に決定してもらおうという意見に賛成である。

校舎の形とかではなくて、こういう学校にして欲しい、中央市の子どもたちの未来を考える私たちが、どんな子どもたちになってほしいか、どんな子どもたちが育ってほしいかという夢をみんなを集めていけたらいいかなと思う。

先日、別の学校で「単級は子どもたちが本当にかわいそう」といった意見を学校関係者から聞いた。

玉穂地区のこどもたちが、それなりの人数の中で、社会性をもって育っていけそうな話になりそうなので安心している。

会長

本協議会は学校統合の是非を決定する場であり、各委員の意見を伺いました。D委員は長寿命化改修を希望していたが、本協議会の結論としては、「統合」で決定するがよろしいか。

(委員同意)

会長

「統合」の結論が出たが、今後としては、事務局に各委員の意見をまとめた報告書案を作成してもらいたい。その報告書案を回覧して、またご意見を伺う。そのような流れで最終的な報告書を作成していく。

事務局

報告書案の作成にむけて要望等まとめさせていただきたい。

統合であると、場所の要望が一番多くあったが、決定は市に一任でいいのか。またほかに意見はあるのか。

校舎については新築でよろしいか。国の補助金が付く建設方法を採用してはどうかという意見があったが、補助金が貰える増改築も選択肢となりうるか委員の考えを聞きたい。

魅力ある学校の具体的なものがあればお聞かせいただきたい。また、普通教室を大きくして欲しい等、大まかな希望でいいのできかせてほしい。

通学路の安全対策の要望。残った施設の活用方法。子どもの人数が増加による教職員の増員などの要望はあるか。

さらに、統合までの時間の意見。どこまで待てるか。ご意見はあるか。

会長

仮に両校が長寿命化改修を実施する場合の計画年度はいつか。

いつまでに統合するのか、記載しないとずるずるいつてしまうし、両校が長寿命化改修終了予定の年になってしまう。それでは意味がない。時期というものを記載したほうが良い。

場所の選定については、新たに土地を購入しないで、どちらかの学校敷地に仮設校舎を建てて、新校舎を建設するのが、最も早い方法だと思う。どちらかの学校については記載しない形でいいのではないか。

事務局

(スクリーンで長寿化改修計画参照)

三村小学校は、当初計画では令和7年から長寿命化改修工事に着手予定であった。他校の施工スケジュールと本協議会を含むあり方に関する協議で2年程度遅れている。今後最短でできたとするならば、令和8年度仮設校舎設計開始、長寿命化完成が令和11年の予定であった。玉穂南小学校の計画は令和12年度から改修工事を開始し、概ね令和14年度までに完成する予定である。両校の長寿命化改修工事が完了するまでの期間は7～8年となる。1校あたり長寿命化は4年、新築は設計も含め5～6年程度かかるのではないか。ただし、統合への合意形成ができていれば、時間的制約はいつまでとして書いた方が市の参考にはなると思う。

委員

統合新校舎建設の反対意見が出るとは思うが、どのように対応するのか。

事務局

事務局としては何とも言えない。現実論でどこまで時間がかかるのか分かりかねる。全国的には立ち消えになるようなことも起きている。

会長

長寿命化計画の実施年度もあるので、一刻も早くしてほしいということ報告書に記載していただきたい。

B 委員

理想を語らせてもらおうと、できるだけ早く新築統合で良いと思っている。土地購入は先行きが全く見えないので、現学校敷地に建設して、どちらかの旧校舎を取り壊す方法が早くてよいと思う。どちらかの学校にするかは、三村小学校から玉穂南小学校は分離新設したので、統合するなら三村小学校がよいと思う。しかし、敷地の広さが課題である。広さを優先しないのであれば三村小学校、広さを優先するのであれば玉穂南小学校に建設するという考えもあると思う。

どちらを優先するのか、委員の意見を伺いたい。いずれにしてもどちらかの現校舎を解体しその場所に建設するのがよいと思った。

I 委員

協議会で決定した事項が、そのまま実現されない場合もあることは理解している。物理的な校舎の広さや、場所、スクールバスというのは、市の財政も厳しいし、人口減少もあるので実現が難しいかもしれないが、この場で理想を語りあって決めたことならば、少しは汲んでもらえると思っている。

山梨県内にも、廃校になった学校が一般利用されている。老人施設にする、子どもが使えるとか、老若男女問わず市外の人でも使えるような全国に開かれた施設にしてほしい。

教員の配置は今よりは手厚くしてほしい。

敷地内に学童があればいい。特性のある子ども達も同じ建物の内で分け隔てなく一緒に学ぶことを国連も文部科学省に勧告しているので、そのような未来を見据えた世界に誇れる学校運営をしてもらいたい。

ICT に関して設備として充実させて欲しいが、学習にタブレットを導入したことによって子どもたちの学力が落ちたとの調査も海外では出ている。ICT を使える技術がないと生きていけないのは当然だが、それだけではない。何のための学校なのか、人間性や人と人が対話する、社会性を育むなど、大きなスケールをもったクラス運営、学校運営であってほしい。

J 委員

小学校と中学校を近くに建てて小中一貫校のようになったら良いと思う。あとは時間的な制限だが、難しいかもしれないが、両校の長寿命化改修工事が終わる予定の令和14年に新校舎が完成する目標を持ってやっていただければいいと思う。

E 委員

場所については、三村小卒業生なので三村小学校が残ればよいと思う。それぞれの地区に住まれている方であれば、身近な現敷地に新校舎を建設してほしいと思っている方も多いのではないかな。場所は議会などに決めていただければと思う。新築と長寿命化改修に関しては、利用しやすいような新築を希望する。通学路や先生の数は専門ではないので分かりかねる。

G 委員

子どもの朝の送迎について、学校の近くや先生の駐車場に車両を止めたりしている。駐車場を確保してほしい。スクールバスを導入する際もバスの駐車スペースが

必要となる。敷地外に車両を停めるとこのないようお願いしたい。

会長

そういう要望はあると思うが、そうなるともう場所が決まる。狭いところより広いところになる。三村小学校は車を停める敷地がないと思う。新たに敷地を確保すると新たな費用がかかる。そうなると広い所へ持って行くような議論になる。

本日は、統合で決まったので、これまでの意見を踏まえて事務局に報告書の素案を作っていたら、委員に送付したうえで、本日意見が言えなかったことなどについて、記載していただき回答してもらいたい。それを元に、もう一度集まっていたら報告書を作成するための会議を開催したい。そのような考えでいるが、何か意見はあるか。

D 委員

新校舎を造るとなると、場所は玉穂南小学校になると思う。立地条件からすると玉穂南小学校の方がいいのではないかと。しかし、場所や統合を決めるのは市長や議会が決めることになる。聞くところによると田富小学校の改修費は18億円から20億円である。新築になると40億円くらいかかると思う。それは議会の判断になると思うが、そうは言ってもここで決めた以上は進めてもらう。あとは任せるしかないと思うが、この協議会の熱い思いを事務局には報告書に記載していただき、議会に伝えてもらいたい。

F 委員

新しい土地を購入するのは時間がかかってしまうので、現学校敷地になることはいいと思うが、三村小学校は文教地区にあり、保育園、図書館、中学校、児童館、総合会館、プールが近接している。その地域から小学校だけが抜けることの意味が分からない。中学校に近いのもいいと思う。

スクールバスはできるだけ使いたくない。三村小学校は地区の真ん中なので可能性としてスクールバスは使わなくてすむかもしれない。最も言いたいのは、文教地区から小学校が抜け出すようなことはしたくない。

D 委員

統合にしても、長寿命化改修にしても、6～7年かかる。その期間に、両校で点検を行って今のところ大丈夫という説明があったが、「そこまでは想定していませんでした。」ということは到底許されない。とにかく早急に必要な改修や修繕は実施してほしい。

I 委員

報告書のやり取りがあった後に開催する会議は、今年度中か。

会長

現委員で、今年度内に第4回目の会議を開催する。

A 委員

三村小学校は狭いという話があったが、敷地は 15,000 m²ある。土地の使い方を見ると、電柱がグラウンドに2本立っており、北側、南側には植栽帯もあり、グラウンドの使える範囲が狭くなっている。そこを整地したり、中庭と噴水、プールを見直したりすると、狭いと言いながらも、有効に使えるのではないか。

安全性を考えると三村小学校の現校舎を早く壊して、そこに建てるのもメリットがあるのではないか

会長

他に何かあるか。

(2)その他

- ・今後のスケジュール

事務局

2月の末までに議事録と報告書の案を委員に送付する。追加の意見はメールや文書で提出願いたい。3月上旬から中旬に第4回会議を開く。3月末に教育委員会に報告を予定している。

会長

同意いただけるか。

(委員同意)

3.閉会

事務局

ただいまをもちまして、第3回の協議会を終了させていただく。長時間ありがとうございました。